

ヲ絶タス且銳意其販路ヲ求メサルハナシ故ニ將來我對支那木材貿易ノ擴張ヲ圖リ優ニ其競争場裡ニ歩武ヲ進メント欲セハ宜シク在支那本那人中斯道ニ經驗アル實業者等ヲ擇ヒ常時囑託員トシ樞要ナル各市場ニ配置シ隨時木材商況ヲ報告セシメ又屢視察官ヲ特派シ該市場ニ於ケル木材需給ノ狀況其他必要ナル事項ヲ調査セシメ以テ當事者ノ參考ニ資シ又直接間接ニ我貿易商ニ對スル指導及保護ノ責ニ任セシメサル可ラス

以上ノ外木材防腐藥注入所開設ノコト本邦人間ニ於ケル競争ヲ豫防スル方法ヲ講スルコト等ハ亦對支那木材貿易上注意ヲ要スル事項ナリトス
我國森林ノ生産力ハ克ク對支那木材貿易ニ對應スルノ餘裕アルヤ否ヤハ頗ル重要ナル問題ナリト雖モ今茲ニ之ヲ講究スルニ暇アラス然リ而シテ輸出ノ方法手段ニシテ一タヒ宜シキヲ得ハ將來愈對支那木材貿易ノ増進ヲ呈スルヤ疑ヲ容レズ且支那ヨリ我國ニ輸入スル農産物ハ頗ル多額ニ達スルカ故ニ國家經濟上ヨリ論スルモ我レハ彼ニ木材ヲ輸出シ相互利益ノ交換ヲ圖ラサル可ラス是ニ於テ我國ノ斯業ニ從事スル者ハ宜シク國ノ内外ニ於ケル將來需用ノ趨勢ヲ查察シ速ニ適當ナル林業方針ヲ確立シ且一大決心ヲ以テ豫メ前途涯限ナキ需用ニ應スルノ

施設ヲ爲サハル可ラサルヤ論ヲ俟タス其方法タル枚舉ニ違アラスト雖モ就中左ノ事項ハ最モ緊要ナルモノタルヲ信スルナリ即チ

一、造林ノ方法ヲ改良シ又有用潤葉樹ノ保護養成ヲ獎勵スルコト
二、我國ニ於ケル木材特ニ薪炭消費ノ節約ヲ勵行セシムルコト
要スルニ近來我國ニ於ケル建築造營器具等ノ材料ハ既ニ從來ト其趣ヲ異ニシ漸次硬質材ノ需用多キヲ加ヘ其他輸出貨物ノ荷造用等ニ供スル樅材ノ如キ昔時ハ重用視セラレサリシモノ却テ必需トシテ缺乏ヲ告ルニ至リシ等漸次木材需給ノ狀態ニ變遷ヲ致セルノミナラス特ニ對支那貿易上必要ナル木材ノ生産上ヨリ論スルモ既往造林事業ノ方針タル杉扁柏等針葉樹ノ栽植ニ偏倚スルコトハ施設ノ宜シキヲ得タルモノニアラス之ニ依テ將來内地ニ於ケル需給並ニ海外貿易上ノ趨勢ヲ查察シ之ニ必需ナル樹種ヲ選ミ亦栽植保護ヲ怠ル可ラサルナリ又從來我國ニ於ケル木材ノ消費ハ比較的夥多ニシテ特ニ薪炭ノ如キ各地農家ニ於テ毎年使用スル所ノ數量ハ極メテ巨額ニ達スルモノアリ故ニ勉メテ之カ消費ヲ節約セシメ其餘剩ヲ以テ對支那貿易其他我國ノ必要ナル需用ニ應セシムルトキハ之カ爲メニ國家經濟上ニ裨益スル所ノモノ亦敢テ鮮少ニアラサルヘシ

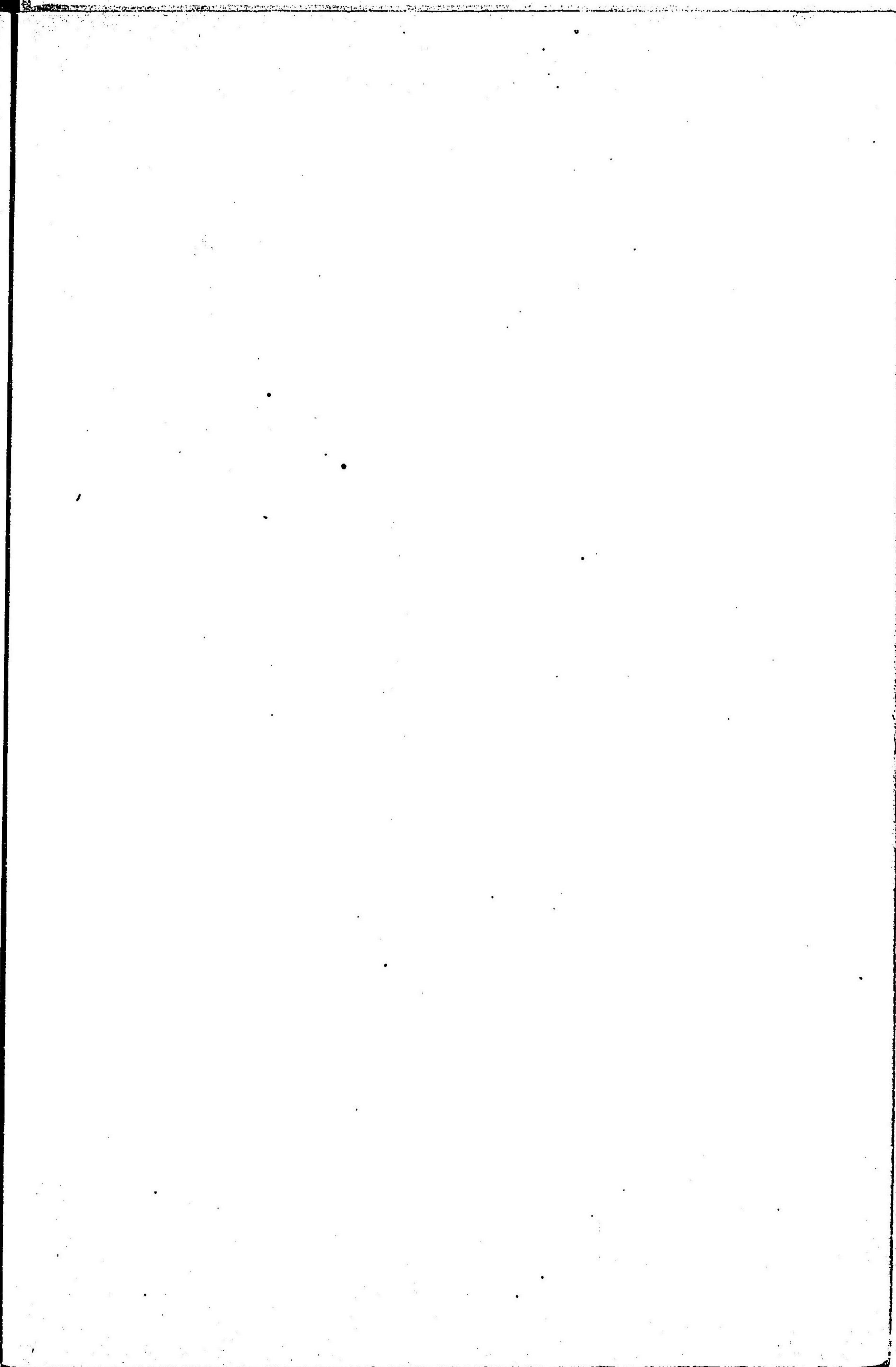
清國視察復命書終

明治三十六年九月十四日印刷
明治三十六年九月十七日發行

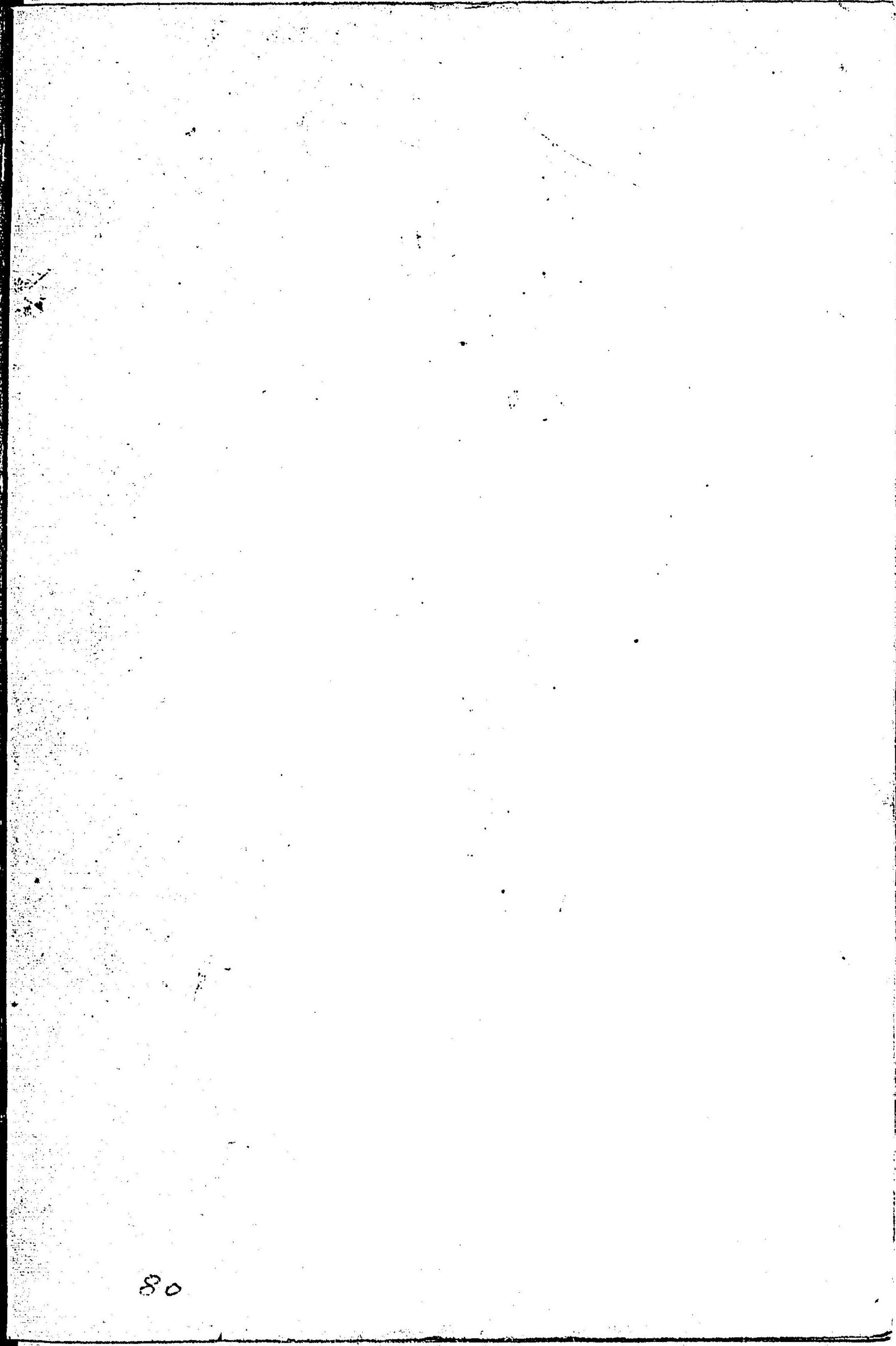
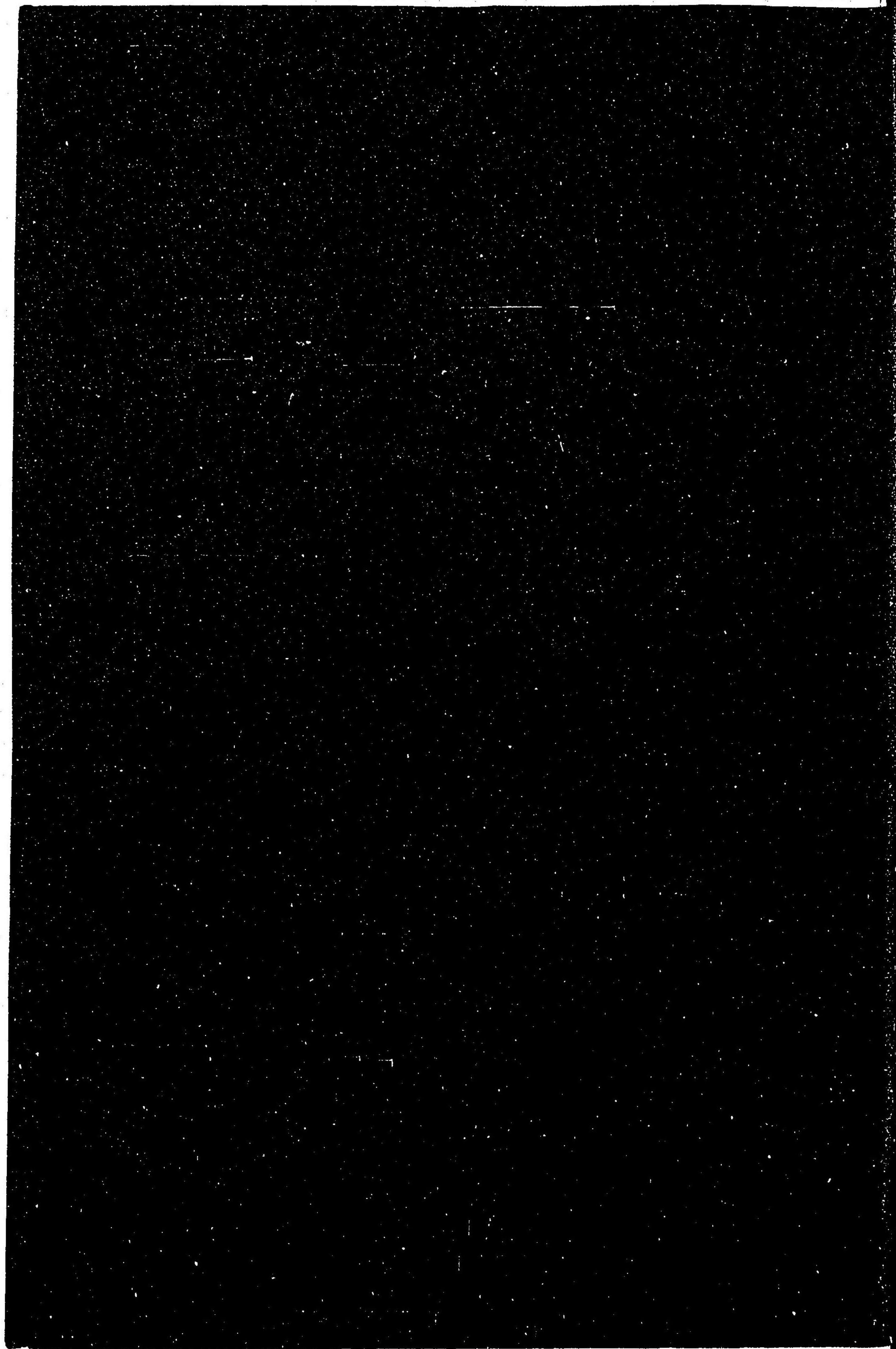
農商務省山林局

東京市神田區美土代町二丁目一番地
印刷者 島 連太郎

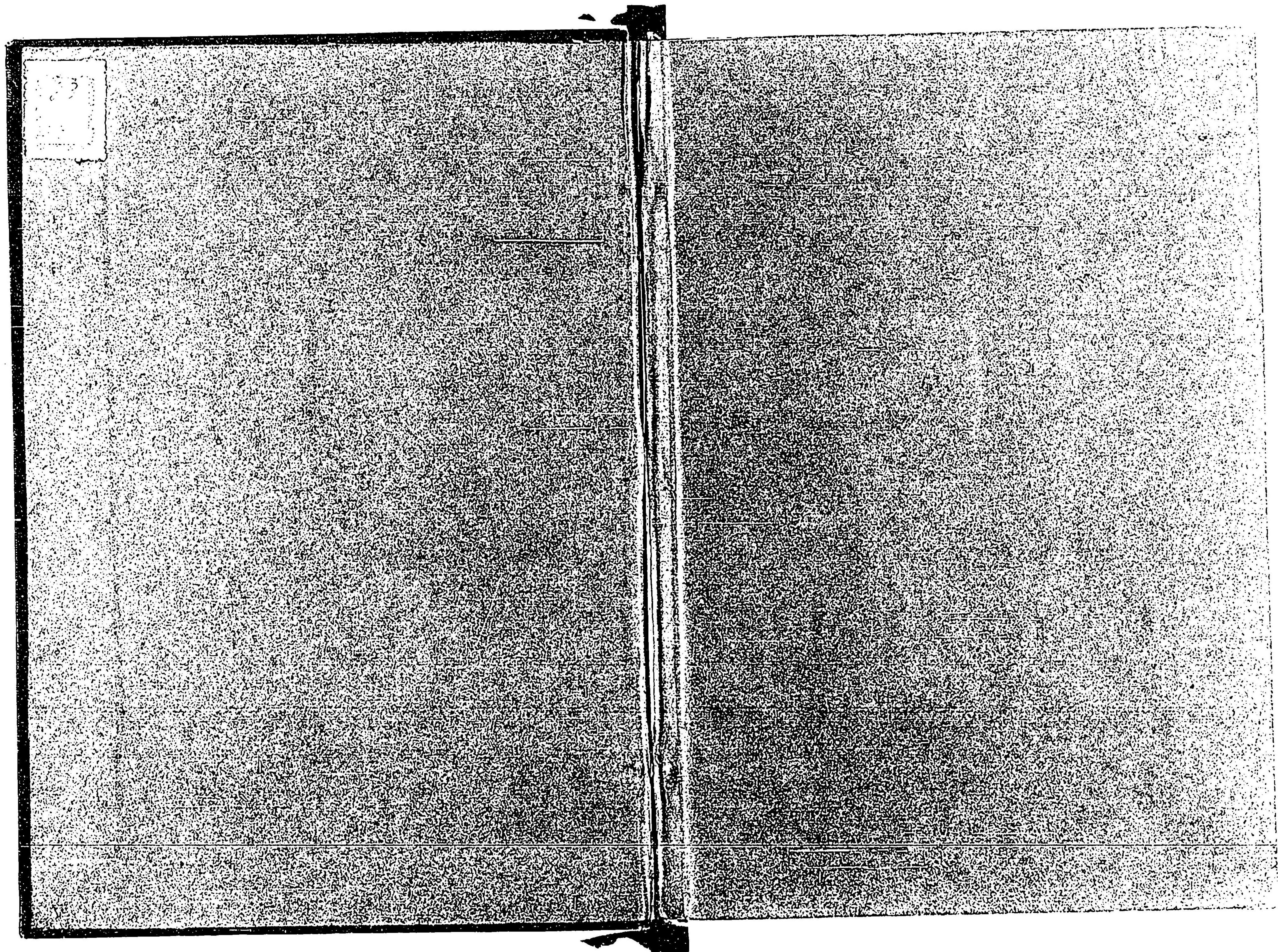
東京市神田區美土代町二丁目一番地
印刷所 三秀舍活版所

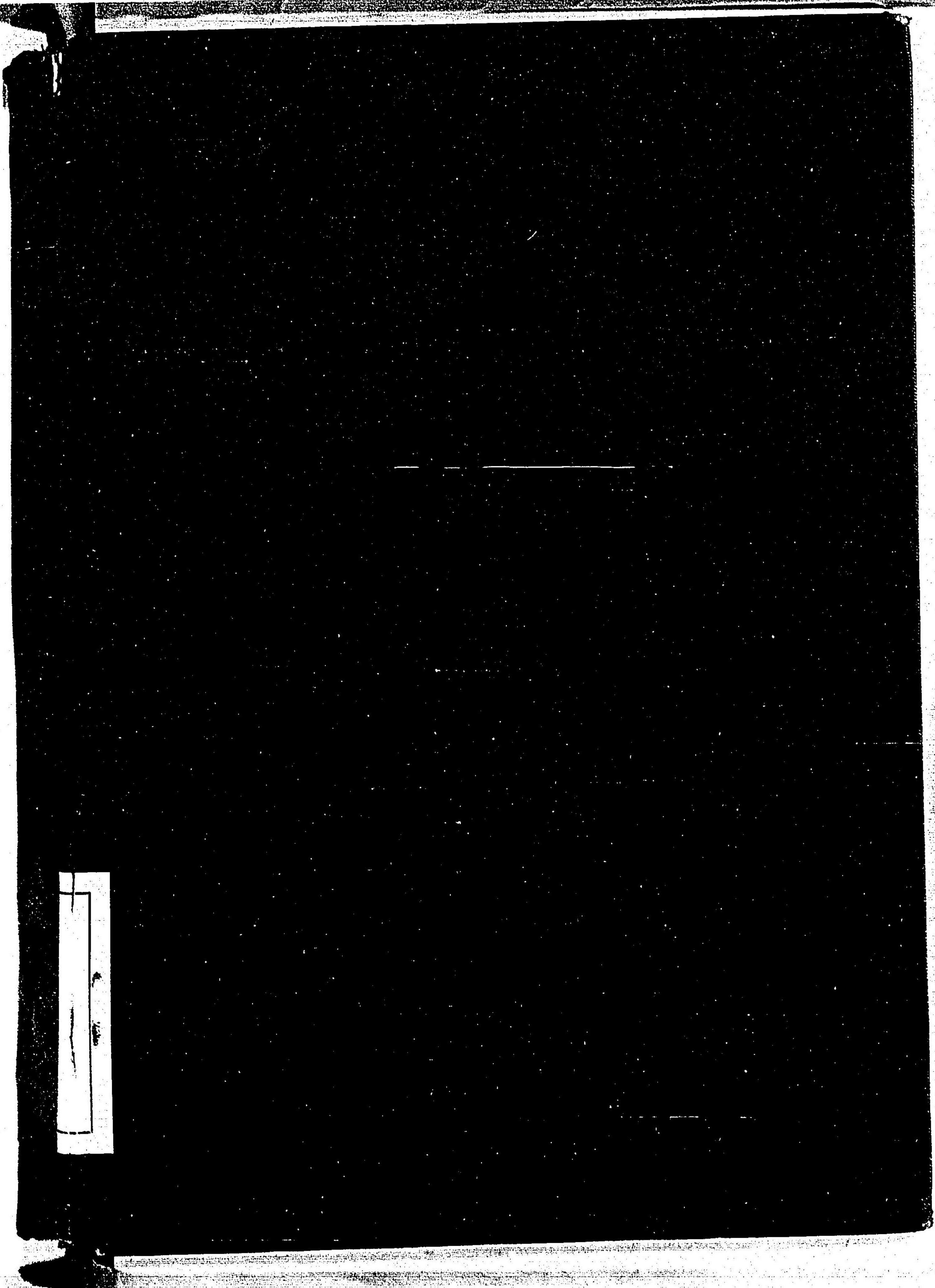


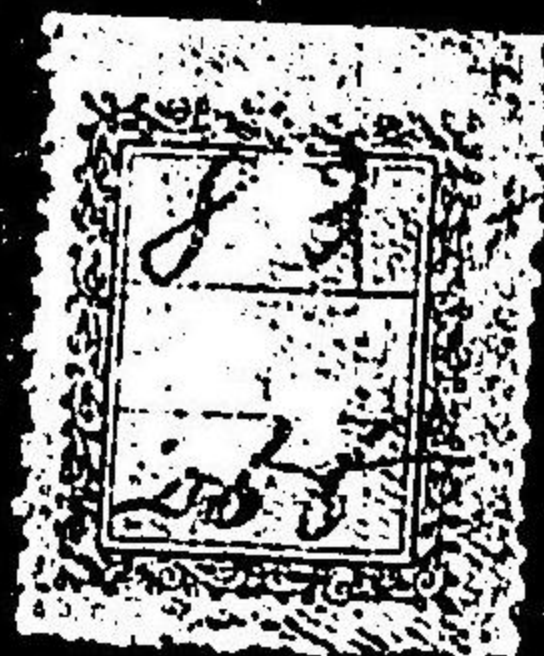
83
256



80







026549-000-3

83-255

清国視察復命書

農商務省山林局

M36

ADD-0220



